

No.	A04
タイトル	越谷レイクタウンの河川調節池を中心としたオープンスペース整備と管理運営について
所属・名前	独立行政法人都市再生機構 筈谷元彦 磯崎正慶
キーワード	① レイクタウン ② 修景設計 ③ 積極的利活用
<p>越谷レイクタウンは、本来であれば地域の洪水被害軽減のために作られる河川調節池をむしろ街の中心に据え、その広大な水面を活用し地域住民の憩いや活動の場とするなど豊かな親水空間として設えることにより、「親水文化創造都市」として、計画段階から広く一般市民の参加も得ながら、全国でも例を見ない街づくりを行ってきた。</p> <p>平成 26 年度に調節池用地及びそれとネットワークするオープンスペースの工事が完了するとともに、元荒川から池への通水が開始され河川調節池として稼働を始めたところであるが、この池は、洪水防止機能は埼玉県が、街の広大なオープンスペースとしては越谷市が管理し、そこで行われる様々な利活用は市民団体等が関わるという独自の管理体制が開始した。</p> <p>独立行政法人都市再生機構は、越谷レイクタウンの整備を行う土地区画整理事業者として、このような池を中心としたオープンスペースの整備を進めてきたが、その取り組みについて紹介するとともに、管理運営の現状等も含め報告する。</p>	